

令和7年度 東京都事業所防災リーダー優良企業

中小規模事業所部門

製造業

キング通信工業株式会社

総務課が主導し、2025年の1年間で「緊急時でも動ける組織づくり」を目標に防災対策を強化。安否確認システムの導入と訓練を実施し、防災対策マニュアルを全面改訂。本社・開発拠点・地方拠点で救命講習会を開催した。

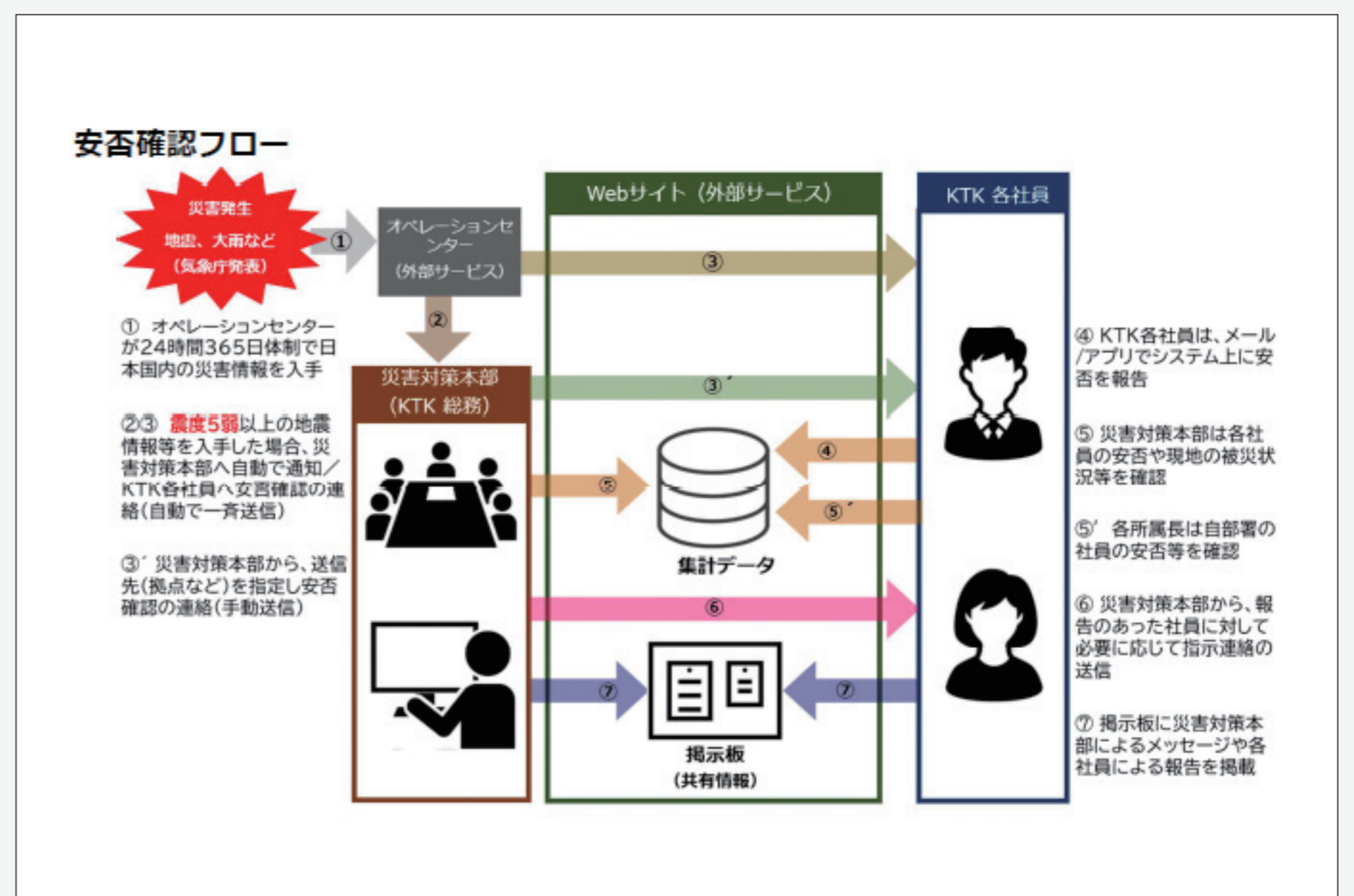


総務部 総務課 主任 大熊 幸太さん
総務部 総務課 課長 天野麻由子さん
総務部 総務課 主任 和田 彩子さん

安否確認システムの導入と

防災対策マニュアルの全面改訂

当社では、コロナ禍で防災訓練が十分に実施できなかったことや、災害の頻発を受け、2025年1月から防災対策の強化に着手しました。従来のメール連絡では時間がかかることや、個人情報保護の観点から、十数社を比較検討してアプリベースの安否確認システムを導入。導入時の登録・初回訓練に加え、1ヶ月後には再訓練を実施し運用の改善と社員への浸透を図りました。並行して、長期間更新されていなかった災害対策マニュアルを全面改訂。連絡先などの基本情報の修正、安否確認フローの変更、業務システムの変更に伴う内容の更新など、実効性の高いマニュアルに生まれ変わりました。



改訂された災害対策マニュアル。安否確認システムの導入に伴い、フローを全面的に見直した。

救命講習会と実践的な防災訓練

自衛消防隊を組織化し、応急救護班2名を指名。この2名は消防署主催の救命講習会に個別参加し専門的な知識を習得しました。さらに本社、開発拠点、一部の地方拠点でAEDを活用した救命講習会を開催し、管理職は必須参加としました。消火器の現地訓練では参加者全員が実際に使用体験を

行い、停電を想定したBCP訓練も実施。備蓄は帰宅困難者用の食料と水を2日分から3日分に増量し、リスク分散のため地下と4階に配置しました。そのほか、イントラネット上でVRやメタバースを活用した防災体験も周知するなど、継続的な防災意識の向上に取り組んでいます。



(上) 救命講習会の様子。管理職も初めてのことに緊張しながら真剣に取り組みました。
(下) 防災訓練の様子。思った以上の勢いに驚きながらも力いっぱい頑張りました。